



久谷中だより 11月号

令和7年11月4日発行
松山市立久谷中学校

《市新人大会結果報告》

壮行会で全校生徒からもらった激励を力に、どの選手も全力で戦うことができました。

- 男子バスケットボール部 2回戦惜敗
- 男子バドミントン部 【団体】優勝（県新人へ）
【個人シングルス】優勝、準優勝（県新人へ）
【個人ダブルス】優勝、準優勝（県新人へ）
- 女子バドミントン部 【団体】第3位（県新人へ）
【個人シングルス】2名ベスト8（県新人へ）
【個人ダブルス】1ペアベスト8（県新人へ）
- 男子ソフトテニス部 【個人戦】3回戦惜敗
- 女子ソフトテニス部 【団体戦】2回戦惜敗
【個人戦】3回戦惜敗
- 軟式野球部 2回戦惜敗
- 女子バレーボール部 1回戦惜敗
- 女子テニス 【団体】愛媛トレセン 優勝（県新人へ）
【個人シングルス】ベスト4（県新人へ）
【個人ダブルス】準優勝（県新人へ）
- 男子テニス 【団体】1回戦惜敗
【個人シングルス】ベスト8（県新人へ）
【個人ダブルス】準優勝（県新人へ）
- サッカー 麻生FC 1回戦惜敗
トーレフルFC 2回戦惜敗
FCルバンガ 準優勝
- 音楽部 【RNB 子ども音楽コンクール】銅賞



～大会・コンクールを終えて～

僕はこの大会で多くのことを痛感しました。1回戦は、勝利しましたが、自分自身のプレーには納得しませんでした。2回戦では、比較的良いプレーができましたが、敗れました。「比較的良い」では通用しないことを改めて実感しました。この悔しさを糧に今まで以上に練習に励み、総体で必ずベスト8を掴めるようにしたいです。（バスケットボール部 2年生男子）

限られた時間の中で曲を仕上げるのは大変でしたが、日々の活動に集中して取り組み、本番では心を一つにでき、最高の演奏をすることができました。この経験を生かして、ご指導してくださる先生や支えてくれている保護者に感謝の気持ちを持って、これからも部員全員で日々練習に励んでいきます。

（音楽部 3年生女子）

～11月の主な行事予定～

1日（土）	文化祭
5日（水）	市連合音楽会
7日（金）～11日（火）	県新人大会
11日（火）・12日（水）	実力テスト (3年)
14日（金）	介護福祉体験 (2年)
18日（火）～20日（木）	期末テスト



体育大会を振り返って

初めての体育大会では、ブロックリーダーとして最高の大会にしたいという思いで頑張りました。本番では、全員が全力で競技に取り組み、応援の声が一つになった時は感動しました。仲間と力を合わせる喜びと協力の大切さを改めて感じました。来年はさらに成長した姿を見せたいです。(1年1組 女子)

僕が体育大会を振り返って思ったことは2つあります。1つ目は応援合戦です。これまで練習をやってきて、声出しもして頑張ったのに、負けてしまったのでとても悔しかったです。2つ目は学年種目です。本番ではミスが少なく、スマーズに進めることができました。けれど、1組に負けてしまい、悔しかったです。この経験をこれから学校生活に生かしていきたいです。(1年2組 男子)

私は今年も充実した日だったと感じました。2回目の体育大会で係や競技練習などの活動に、積極的に楽しく取り組むことができました。特に学年団体種目では、クラスメイトと団結し、クラスの良さが全開になったと思います。久谷中の行事はすごく楽しくて、伝統も受け継がれており、久谷中生で良かったと心から思いました。(2年1組 女子)

私が印象に残っているのは応援合戦です。練習時には揃わなかった振りやかけ声が合い、紅蓮ブロック全員で今まで以上の応援合戦ができました。学年種目では負けてしまいましたが、この短い期間で作り上げた絆はどのクラスにも負けないと思います。私がこの期間で感じたことは3年生の偉大さです。1・2年生に大きな背中を見てください、すごくかっこよかったです。来年は私たちが引っ張るように頑張ります。(2年2組 女子)

僕が印象に残っているのは、練習の成果を発揮し、勝つことができた学年種目です。また、青嵐としても応援でも、総合でも優勝だったのでとても嬉しかったです。来年は自分たちが3年生として1・2年生を先導することになるので皆で協力しながら、最高の体育大会にしたいです。支えてくださった先生方や1・3年生、応援してくれた親に感謝したいです。(2年3組 男子)

私は中学校最後の体育大会で紅蓮ブロックリーダーを務めました。最初の声出しのときは、みんなの声が出ておらず、楽しみな気持ちとは裏腹に不安な気持ちがありました。そんな気持ちを無くしてくれたのは、応援団の5人や紅蓮の仲間たちです。時には意見が合わず対立することもあったけれど、最後には悔いなく終わることができました。皆にはとても感謝しています。紅蓮で活動できて幸せでした。(3年1組 女子)

僕はこれまで、大きな役に就いたことはなく、応援団長という大役を任され、夏休みから毎日緊張していました。完成了応援も難しく、同じブロックの3年生や下級生も厳しい指導で練習が嫌になっていたと思います。それでも、皆で掴み取った勝利の感覚は忘れません。応援団長という役を全うできて良かったと思えた体育大会になりました。(3年2組)

